

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワーカーズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2024年 5月 16日(木) 14:00～15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	--------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
斎藤亜希子・山本卓也	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
蔦屋 久美子	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	
笹井 知子		わくわくの里(介護スタッフ)
飯塚 陵子		わくわくの里(管理者)
高木 富子		わくわくの里(ケアマネ)

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

今回は、わくわくの里だよりを参加者に配布させていただきより活動の様子がわかるようにしました。

活動報告と合わせて見ていただくことで、わかりやすかったとの高評価をいただきました。

①季節の行事がわかりやすくよく取り組まれている。感染対策を行いながらも、積極的に新しい企画を計画しており良いことだと思う。

皆さんが楽しそう。地域に良く溶け込んでいるなどの印象で素晴らしい。

②利用者宅の様子をスタッフが見ることで、来所では知りえない家での暮らしぶりを知ることができると思う。

それを踏まえて、全スタッフ対象に自宅訪問できる機会を作っている取り組みは、大変良い。

事業所として利用者に向き合う姿勢が伝わった。わくわくさんをお願いすれば安心と思う。

③最近はお泊りデイが増えており、利用する方も多くなっている。家族の安心のためだけに泊りを選択することに不安も感じる。生活の隅々まで支援してくれる小規模多機能型居宅介護サービスの利点は大きい。

④最近の利用者家族はネットなどで独自に情報収集しており、民生委員に相談してくることは皆無になっている。

包括支援センターでは状態が悪くなる前の段階で、先を見据えての情報提供を心がけている。

地域サロンを中心に顔が見える相談場所としての機能を担える拠点を増やしていくことが必要。横浜市も推奨している。わくわくの里が独自に企画していこうと検討していることは素晴らしいのです。すめてほしい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

①今回、参加スタッフが里だより担当であり、作成にあたっての感想も伝えることができた。

地域への発信ツールとして回覧板採用していただき感謝している。地域の理解があつてこそその事業運営と考えている。今後も地域の皆さんにわくわくの里をアピールしていきたい。

②今年度の事業目標に「自らが行動する」を掲げている。個別の年間目標をたて研修等の取り組みを行っていく。

利用者宅に出向いて地域の中でどう暮らしているかを知るために、訪問の機会を積極的に作っている。

スタッフも在宅の暮らしぶりを知る効果は大きいようで、スキルアップにつながっている。

③わくわくの里の弱点がまさに夜勤スタッフの手薄さだ。お泊りデイの広がりには不安に感じていたが、小規模多機能の利点を皆さんが感じてくれていることは大きな励みになる。

夜勤体制の対策は必須と思う。

④地域とつながるツールとして、みんなが集える場の企画を検討していきたいと思う。

わくわくの里のアピールだけではなく、何かあつた時に相談できる場所としての役割を確立していくことを目指したい。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

自治会の夏祭りへの参加を検討している。(7月)

※ 会議は原則事業所内で行ってください。

やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワークスわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2024年 7月 18日(木) 14:00～15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	--------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
山本卓也	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
欠席	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	
田中 志穂		わくわくの里(介護スタッフ)
飯塚 陵子		わくわくの里(管理者)
高木 富子		わくわくの里(ケアマネ)

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ① 個別対応の報告を聞いて素晴らしいと思った。個別ケアに向けてスタッフが話し合いをしながら、その方にとってできることを考えて対応している。特に、食事の取れなくなってきた利用者に好きなものを選んで食べてもらう取り組みなどきめ細かい対応だと思う。
- ② わくわくさんのようにみんなで話し合う関係ができていることが大事だ。
- ③ 脱水症、熱中症など気にはなるが、生きてきた時代的にエアコンに慣れていない。使わなくてもさほど暑さが気にならない。うちわがあれば大丈夫で、自分の体が暑さに強いと思っている。
ただ、今年の暑さは異常だとは感じている。状況に応じてエアコンは使用していった方がいいと思う。
エアコンを使いすぎると電気代がかかるからと使用しない傾向がある。
- ④ エアコンの使用については地域に向けて発信するが、苦手な方が多いと感じている。
いろいろな場で注意喚起はしているが、なかなか受け入れられないように思う。
水分補給もトイレに行きたくないからと制限している方も多い。
- ⑤ 数々のリメイク品は素晴らしい。
- ⑥ 民生委員として把握できる世帯は75歳以上の独居が対象で、高齢夫婦や日中は一人である同居世帯は対象外となり十分な見守り体制ができていない。また、訪問も室内には入らないので環境の把握はできず熱中症防止に関して万全ではない。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

今回は、「脱水予防について」をテーマに参加者の方々と意見交換させていただいたが、年代的な考え方があったり生活してきた環境や電気代等の金銭的な問題など、エアコンの使用の是非では簡単に解決できない事がわかった。利用者様個々の考え方や、取り巻く課題を見極め対応していく必要がある。
今年は昨年以上に暑さが際立っており、体調管理には十分配慮が必要だと思われる。スタッフへの指示出しも的確に行っていきたい。
個別ケアに関して、お褒めの言葉をいただき今後の励みになり、対応してきたことへの自信につながった。
スタッフの取り組みも素晴らしく、皆が情報共有しながら同じ考えで取り組めているからこそその個別支援となっており事業所としての強みでもある。
又、今回はわくわく自慢として、リメイクした作品を見ていただいた。
洋裁の得意なスタッフの手にかかると、使い古しのエプロンや布地が利用者様使用の袋や座布団等に変身。
わくわくの里ならではの作品の数々を今後も紹介していきたい。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

自治会の夏祭りは中止となった。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワーカーズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2024年 9月 19日(木) 14:00~15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	--------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
山本卓也	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区高齢・障害支援課
欠席	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	
秋葉 真由美		わくわくの里(介護スタッフ)
飯塚 陵子		わくわくの里(管理者)
高木 富子		わくわくの里(ケアマネ)

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ① 自動火災報知機の誤作動についての利用者様の様子について興味深い報告だった。
大きな警報音が鳴っているのも関わらず、利用者の皆さんが普段通りに昼食を召し上がっていたとのことだが、ある意味パニックにならないことは良いことだと思う。
自分のマンションでも誤作動で警報音がなったが、情報がないので半信半疑で動きようがなかった。
訓練は自治会、区などそれぞれしているが、実際の動きは読めない。
- ② 働きやすい職場を目指し工夫していることは良いことだ。
- ③ 利用者に応じたサービスをきめ細かく行っているが、実際高齢者がサービスにどうつなげていいかわからないとの意見もある。
困ったときに相談できるところがあると安心できる。
- ④ 高齢になると自宅に届く郵便物を確認しないで放置してしまうことも多く、見ても内容が理解できないこともあり有益な情報も見落としてしまうこともある。
- ⑤ 地域とのつながりの中で民生委員と子育て中の親との交流会を定期的に開催している。
地域とつながることは大事なことで、地域の行事にも積極的に参加してもらえると良い。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ① 大型台風の影響等で湿気が強い期間があり、今回の誤作動の原因は湿気による感知器の不具合だろうとの見解でした。この部品については交換予定です。
パニックにならない状況は避難の際には効果的で、スタッフが落ち着いた対応をとることが大事かと思う。
- ② 非常勤のスタッフではあるが、長期(1か月)の休暇をとることを受け入れ調整に協力してくれたスタッフには感謝ですし、お互い様の気持ちでチームワークができていることは誇らしい点だと思う。
- ③ コロナ感染防止の為地域の受け入れを中止している現状だが、以前のように交流の機会を深め顔の見える関係を構築していきたい。
生活の中で困ったときにいつでも相談できる場であるよう努めたい。
- ④ 安心センターなどのサービスもあり、情報の発信は必要であり、何に困っているのかを常に把握できるよう視野を広げていく必要がある。また、有益な情報を把握し必要に応じて伝えられるよう学んでいきたい。
- ⑤ 11月開催の文化祭に参加もさせてもらうが、地域とのつながりは常に念頭に日々の活動に反映させていきたい。
今回は夜勤担当のスタッフが参加した。会議に参加することでより地域を感じてもらえる場となっている。

7. 地域からの情報提供

10月地区レクリエーション大会開催予定

8. その他特記事項

事故報告2件あり、今後の活動にあたり対策を共有し全スタッフで取り組んでいく。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。

やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワークーズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2024年 11月21日(木) 14:00~15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	--------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
山本 卓哉	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区福祉保健センター高齢担当
蔦屋久美子	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
大橋 幸	利用者又は利用者の家族	
欠席		わくわくの里(管理者)
高木 富子		わくわくの里(ケアマネ)
中村智美		わくわくの里(看護師)

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ①これだけ社会に介護が広がってきているのに、駐車スペースがないことや医療・福祉関連の業務で警察に違反を取られるのはおかしいと感じる。行政にはもっと考えていただかないとケアの質が落ちると思う。
- ②役所も利用者様の意思を勝手に決めることはできないので、周りの人たちが元気なうちに後見人をつけてほしい。
- ③今と昔では家族関係が変わってきている。それなのに行政制度がまだ30年前のままだから今の家族も困っている。今は「親が子に頼まない」「子も頼まれていない」ケースが多く介入が難しい。動かない家族は困る状況にならないと何も始まらないので仕方ない。今の90歳代が減ってくるから、数年したら平均寿命はもうじき下がってくると言われている。わくわくの里のケアマネは、よく丁寧に利用者様に合わせて動いてくれている。包括や区が事業所と連携しながらスムーズなサービス提供につなげられることが大事だと思う。
- ④マイナカードは役所の中でも対応が一定ではない部分もあり、どの職員もかかわることができるわけではないため、今後の動向は見ていって伝えていきたい。
- ⑤自治会30人程度で防災訓練をした。実際、担架やホースなど用具を使えない人が大半だった。
- ⑥傾聴ボラはどうやって苦しんでいる人の話を聞くべきかと思っている。コロナ禍で活動が縮小していたが、現在はGHを中心に積極的に受け入れてもらっている。今後は、スタッフの傾聴も必要だと考えている。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ①「介護だから、福祉だから仕方ないんじゃないか」と事業所側が地域の方への期待と甘えがあったが、世間は関係ないということを痛感した。ルールに応じた対応を速やかに行うことが重要だと感じ、地域の理解の中で事業が継続していることを常に念頭にしていきたい。現在は警察発行の許可証を登録申請してカードを作成し、駐車時に置いて活用し始めている。
- ②在宅ケアも家族参加が目標。ケアマネは役所の手続きなどやってあげてばかりでは何でも屋になってしまう。ケアマネが利用者様には今後一人になった時にどうすべきか話し合い、後見人を勧めているが中々活用にはつながらない。
- ③通院同行も家族参加が減っている状況。包括はよく大変な状況も聞いてくれる。内心はついピリピリしがちなことも経験とともに落ちついて対応できるようにはなってきた。
- ④今は役所まで行ってマイナカードを作れていない利用者様が多い。役所に聞いたところ、マイナカードを作成できない人のために他の策を検討中だと言われたため、ひとまずそのまま様子を見ていく。
- ⑤防災用品は、里では全体会議の時に実際に TENT を張ったり、ソーラーパネルを触ってみたりしている。実際に誰でも動けるように日々取り組んでいきたい。
- ⑥毎年のコロナワクチン集団接種も11月には里で終了した。これから感染予防の部分も考慮しつつ、高齢者の方々のコミュニケーションやレクの拡大もしていきたいと考えている。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワークスわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2025年 1月16日(木) 14:00~15:00	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	-------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
山本 卓哉	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区福祉保健センター高齢担当
石田 邦彦	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
小柴 喜代司	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
飯塚 陵子		わくわくの里(管理者)
高木 富子		わくわくの里(ケアマネ)

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ① わくわくの里だよりは、内容が分かり良いと思うが、日常的な様子も知りたいご家族もいるかもしれない。家族会などで様子を見る機会があると良い。
- ② クリスマスメニューや正月御膳など食事内容はとても関心があることだと思う。
- ③ わくわくの里は会議メンバーも多く、年間でスケジュールも決まっているし参加しやすい環境になっているが利用者家族の参加がないのは残念だと思う。
日程的に家族も中々参加しにくいことも理解できるが、時間や参加メンバーなどを工夫しながら参加を促すといのではないかな。年間通して一人がでなくても順番に参加してもらうのも良いだろう。
- ④ 地域の課題としては、空き家が増加してきており懸念している。
各家庭の事情もあるのでこちらから何かできる問題ではないが、若い人たちが住むための場所が広がってくれることを望んでいる。
地域の高齢化が進む現在の状況を変えていかないとダメだと思っている。
- ⑤ 感染対策の観点から施設内での開催が中々難しい現状だとは理解しているが、年数回は施設内での開催ができるといいだろう。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ① 以前は家族会を年1回開催していたがコロナ感染拡大以降は外部とのかかわりが全くなくなってしまった。現在も感染対策は継続しており開催のめどはたたないが、書面を通して日常の様子を伝える事や、ケアマネの自宅訪問時に話してもらうなど工夫をしながら家族の想いに答えていきたい。
- ② インスタグラムでの発信など見える化しているが、以前のように食事体験等の取り組みができない事が残念だが、今後は再開をめざしたい。
- ③ 来年度にむけて参加メンバーの検討をし始めたので今回のご意見を参考にご家族の参加も検討したい。1回づつでも参加していただけるようにお声掛けをしていきたいと思う。
- ④ 空き家問題は課題が多いことは認識している。
利用者様亡き後の対応は家族も苦慮しているようだ。
- ⑤ 次年度は施設内開催をスタートさせていきたいと考えている。
- ⑥ ヒートショックでの死亡事故を受けて、日常生活での注意点や注意喚起などの話し合いを行い参加者の皆さんからのアドバイス等もいただけ参考になった。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

運営推進会議開催報告書

1. 基本情報

事業所名	わくわくの里		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市瀬谷区橋戸三丁目69-2		
担当者	飯塚 陵子	連絡先	045-300-0606
運営法人	特定非営利活動法人 ワーカーズわくわく		

2. 開催日時・場所

日時	2025年 3月13日(木) 14:00～15:15	場所	相鉄瀬谷団地自治会 集会所
----	-------------------------------	----	---------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
斎藤 亜希子	市の職員又は地域包括支援センターの職員	瀬谷区福祉保健センター高齢担当
登川 綾乃	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下瀬谷地域ケアプラザ包括支援センター
寺下 眞一郎	地域住民の代表者	自治会会長
欠席	当該サービスに知見を有する者	傾聴ボランティア
飯塚 陵子		わくわくの里(管理者)
高木 富子		わくわくの里(ケアマネ)

4. 活動状況報告

別紙参照

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- ① 有償運行79条ってよくわからないので説明してほしい。
- ② わくわくさんの車もよく見るが、安全運転してるなと感じる
- ③ 利用者のきめ細かい対応など、小規模多機能のサービスは使いやすい。わくわくの里さんは、サービスのきめ細かさや気づきなど素晴らしく今後も相談させていただく。
高齢の方は日々体調の変化がかわりやすく支援する側も大変だと思うが、頑張してほしい。
- ④ 地域としては行事の協力などお願いしたいし、今後も連携していきたい。声を掛けていくのでよろしくお願いしたい。
今年の夏祭りは7月を予定している。
- ⑤ 外部評価を毎回やっているが、質問項目がよくわからないこともある。
内容の見直しも必要ではないか。
コロナがあり施設を見ていないので外からの様子しかわからないが、悪い印象はない

6. 評価・意見・要望に対する考え・取り組み

- ① NPO法人ワーカーズわくわくの助け合い部門の中で、移送サービスを提供している。
サービス提供の条件に有償運送(79条)申請が必須であり、法人も取得している。
その際には使用車両に有償運転のロゴの入ったボードを提示する義務がある。そのボードの紛失事故があり今回事故・ヒヤリハット報告としてお伝えさせていただいた。
移送の関しては利用のご要望が多いが、担い手不足により十分な対応には至っていない。
- ② 運転手不足の中、女性スタッフが日々運転業務をこなしている。
安全運行を心がけながら業務を行っているが、時間に追われながらの運行業務にならないよう配慮している。
- ③ 区や包括からの相談は基本お断りせず、一度吟味しできるだけサービスにつながるようにしている。
年間通じてご相談をいただき、18年目にして登録人数24人を超えた。有難いことです。
今後もお困りごとに真摯に向き合いながら事業を継続していきたい。
人数増加であたふたしていたスタッフも、ペースをつかみ段取りよく支援ができるようになっていく。
- ④ 事業所としては地域との連携は重要と思っている。色々な形で地域の方と交流できる機会を持ちたいと考えている。
新たな取り組みも今年度は実現しなかったが、次年度に向けて再度考えていきたい。
- ⑤ 外部評価の課題は事業所側も感じている。他事業所の意見なども聞きながら改善できる点がないか検討していく。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。